

第 24 回 フレッシュカップ 追加要項

1 競技について

- (1) 本大会は「(公財)日本水泳連盟アーティスティックスイミング競技規則 2018」および本大会要項に則り実施する。採点は EX/AI/DI の 3 パネル、各パネル 0～10 点で 1/10 ポイントを使用する。コーチカードの提出は必要ない。
- (2) 棄権・変更届の提出は、競技開始2時間前までに所定の用紙に記入の上、本部席の所定の場所に提出すること。ただし、ソロ競技に関しては、監督者会議後ただちに提出すること。
- (3) 出場順は本部にて抽選し、9 月 18 日(木)に各所属団体の連絡責任者宛にメールにて連絡する。
- (4) 本大会は選手1名につき2名の関係者観覧で実施する。一般観覧者は入場できない。

2 監督者会議について

1階 西側入口にて 9 : 05 より実施する。

3 ADカード(「選手票」「コーチ票」)について

- (1) 選手、コーチのADカード(「選手票」「コーチ票」)は各所属団体にて(公財)東京都水泳協会ホームページよりダウンロードして、A4サイズにカラーで印刷し4分割する。所属印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。
- (2) コーチ票は1団体1枚の基本ADに加え、出場選手5名につき1枚追加できる。(追加AD:選手1～5名→コーチ票1枚、6～10名→2枚、11～15名→3枚)
- (3) コーチ票は団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などへの使用は禁止する。
- (4) 選手票、コーチ票は記名されている選手または引率者専用とし他者への流用は認めない。
- (5) 会場内では常時ADカードを首から下げて携行すること。
- (6) ADカードを収納するケースは各自用意すること。(折らずに収納できるサイズを使用する)
- (7) ADカードは所属団体の責任において規定に則り発行すること。

4 入退館について

- (1) 入退館は「1階 西側入口」(駐車場がある側)とする。
- (2) 入館開始時間は 9 : 10 とする。扉外で待機する際は、建物に沿って並び、他の利用者の迷惑にならないよう注意する。
- (3) 入館前に館の敷地内で髪上げ、体操、ランドリルを行うことはできない。
- (4) 入館の際は、ADカードをケースに入れて首に下げておくこと。
- (5) 競技終了後、館内での待ち合わせやミーティングは禁止する。速やかに退館すること。

5 控え場所、飲食について(別紙「会場図」参照)

- (1) 控え場所は指定場所とする。指定区域外への立入りを禁止する。
- (2) プールサイドの「選手控えエリア」は、赤台を設置してあるので譲り合って使用すること。
- (3) 大きな荷物はロッカーにしまい、プールサイドへの持ち込みは必要最低限のものにすること。プールサイドの壁の棚を利用し、赤台はできるだけ多くの人が着席できるように配慮する。
- (4) 水分補給は、ペットボトル、水筒など専用のものを使用し、他者と共有しない。
- (5) 食事は「選手控え場所」にて取ること。「選手控え場所」には水気を良く拭きとってから入ること。敷物を敷いて利用すること。敷物は各自で持参し兼用しない。
- (6) ゴミは必ず持ち帰ること。
- (7) 「選手控え室」の電源の使用は禁止する。

6 更衣、髪上げについて

- (1) サブプールの更衣室を使用する。
女子更衣室：女子選手、女性コーチ
男子更衣室：男子選手、男性コーチ
ロッカー券は各クラブに1枚ずつ配付する。貴重品などはクラブで管理すること。
- (2) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。土足を入れる袋を各自で用意すること。
- (3) 髪上げ（ハットの着用）を行う場所は、更衣室内の洗面台か選手控室（会場図参照）のみとする。各自でビニールシートを持参し、その上で行う。ゼラチン、ピン、髪の毛を周囲に落とさないよう注意し、回収袋を持参し必ず持ち帰ること。館内のトイレ、洗面台に絶対にゼラチンを流さないこと。
- (4) ゼラチンを使用した選手で続けてバジジテスト検定を受検する者は、日本水泳連盟指定の白キャップを直接被らず、自分のキャップを被ってから白キャップを着用すること。

7 練習について

- (1) 「練習時間」「会場図」に記載のとおり実施する。状況によって変更する場合があるので、係員の指示に従うこと。
- (2) 練習中の荷物は、クラブごとにまとめてプールサイドの「選手控えエリア」に置いておくこと。
- (3) 練習中のアクロバティック動作については、接触に十分注意すること。

8 招集、動線について（別紙「会場図」参照）

- (1) プレスイマーは置かない。
- (2) 自分の出場順の2番前の選手がスタートしたら、第1招集所に集合すること。
- (3) 第1招集所に集合する際は、ADカードを着用し、第2招集所ではずしてコーチに預けること。
- (4) コーチは2名まで招集所に帯同可とする。
- (5) 演技中は、コーチ2名まではコーチ席に待機すること。
- (6) 該当クラブは「会場図」に記載の所定の場所で、応援と撮影を可能とする。

9 表彰について

- (1) 全競技終了後にプールサイドで行う。
- (2) 各種目1～3位の選手は、ユニフォームなどを着用の上、第2招集所へ集合すること。

10 クラブ関係者の観覧について

- (1) 出場選手1名につき2名のみ、所定の場所で観覧可能とする。
- (2) 演技中の選手のクラブ関係者は、所定の場所で応援、撮影可能とする。
- (3) ADカード（クラブ関係者票）は、所属団体の連絡責任者へメールにて送付する。所属団体の責任において配布すること。
- (4) 所属団体は、クラブ関係者に「会場図（クラブ関係者用）」に記載の内容、および本追加要項に記載の内容を遵守するよう伝えること。
- (5) メインプールは一般公開しているため、サブプール、1階トイレ以外は使用禁止とする。
2階エントランスからサブプールを見ることは出来ない。
- (6) 観覧後は速やかに退館すること。館内での待ち合わせやミーティングは禁止する。

11 本大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 大会中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (2) 悪天候・自然災害または感染症流行により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも、申込金は返金しない。
- (3) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を順守すること。

1 2 その他

- (1) 熱中症に注意し、こまめな水分補給を心掛けること。
- (2) 貴重品は所属団体の責任において管理すること。
- (3) 事故、怪我などのないよう、所属団体において十分注意すること。
- (4) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。

1 3 問い合わせ先

(公財) 東京都水泳協会 A S 委員会	tosuikyo.as@gmail.com
大会前日～当日	090-4420-6211 (伊藤)